

原子力防災センター

所在地	静岡県牧之原市坂口
建物用途	事務所
構造・規模	RC造 地上 3階 延面積 4,780㎡
工期	平成26年12月 ~ 平成28年2月
総工事費	2,316百万円
発注者	静岡県
設計者	(株)梓設計
施工者	浅沼・大河原特定建設工事共同企業体
建物のコンセプト・特徴等	<p>オフサイトセンターの移転に関する国の省令及びガイドラインに定められた要件(原子力発電所から5~30km等)を満足させるため、富士山静岡空港西側県有地に浜岡原子力防災センターを移転整備したものです。</p> <p>また、老朽化により建替えが必要となっている環境放射線監視センターを一体的に移転整備し、原子力災害時に両施設の緊密な相互連携を図っています。</p> <p>施設の特徴</p> <p>外観: 計画敷地は以前、森であったことから、再生するイメージとなるよう樹木をモチーフとした意匠デザインを取り入れています。</p> <p>構造上の特徴: 免震装置を採用しています。(施設整備ガイドラインの要件による)</p> <p>想定される東海地震に対しても十分な耐震性能を確保し、広域防災拠点として機能します。</p>
特記事項 (設計者選定方式等)	設計者を総合評価方式(簡易I型)で選定しています。



外観



内観